

自分らしさつかむ女性たち

V285 マンションの更新時期が近づいてきた。

美術館や博物館が多く静かな住環境は気に入っているのだが、どれだけ家賃を払っても資産にならない点が悩ましい。

一般社団法人「女性のための快適住まいづくり研究会」(目黒区)が、マンションを購入した会員の女性(380人、うち未婚317人)を対象にしたアンケートによると、初めてマンションを購入した年齢は35〜44歳が54・3%で過半数を占めた。20〜39歳の年齢層では48・2%だった。購入時の年収は、500万円台がトップで22・

東京五輪

あと897日



9%。300万円台も12・4%いるというから、マンション購入は一部の特権ではないということなのだろう。

ペットを飼ったら、マンションを買ったら…結婚できなくなるという都市伝説はいくつもあるが、以前、同研究会代表の小島ひろ美さんを取材した際「何が起きるかわからない人生で、資産があれば自立につながる」と話していたことが印象的だった。その上で、「購入者の多くが『いいパートナーがいれば結婚したい』と考えている」という言葉からは、既存の価値観にとらわれず、自分らしい生き方を模索する現代の女性ならではの現象が起きていると感じた。(石井那納子)